

2HJ の5周年記念

日本で最初のフードバンクを設立するために上智大学にあるカトリック・センターに有志が集まったのは2002年3月11日でした。その会合に集まったのは、寄付してもらえる食料をよりよい方法で集められるはずであり、食べるものに困っている人へもっとよい方法で食料を届けられるはずであると彼らは考えていたからです。当時ホームレスを支援していたあらゆる団体の代表者が2000年1月から2年間お互いに協力し合って、各々の団体に食料を集められるように努力していました。2002年には、それぞれの団体が支援している人だけでなく、困っている人ならだれでも支援する現実的かつ自立的なフード・バンクの設立というビジョンの方がより良いということがはっきりしました。セカンド・ハーベスト・ジャパン(2HJ)のスローガンである「全ての人に、食べ物を」は、困っている人ならだれでも支援する団体を設立するためのこうした苦闘から生まれたのです。

2002年にこの会合を開いて以来、2HJが著しい成長を遂げてきたことには疑いの余地はありません。設立当初は、倉庫も車もそして事務所さえありませんでした。資金として手元にあったのは、東京ユニオン教会の女性部会が寄付してくれたお金だけでしたし、どこまでやっているのかははっきりとわかっている人はほとんどいませんでした。しかし、私たちを信じ、成功して欲しいと願っている人はたくさんいたのです。

私は、それまで支援してきてくれた人たちの名前を書き留めはじめました。しかし、全員の名前を記録するには1冊の本が必要になることがすぐにわかりました。2HJは、2,3人の構想から、懸念を抱く共同体による行動の表現へと変貌を遂げています。これは、誰か1人の力で可能になったものではありません。今日2HJがここまで来られ

たのは、2HJをさまざまな形で支援してくれた人がいたからです。2HJの歩んできた多くのステップは、誰かが2HJのことを他の人に話したら、たまたまその人がその話を聞くのにぴったりの人物でタイミングもぴったりだったといった風に、始まりました。その人物が実際に行動を起こすか、別の行動を起せる誰かに2HJの話伝えるかしてきたのです。どこへ行ってもそこにはいつも既に誰かがいて、2HJが着実な一歩を踏み出せるように手伝ってくれました。

生き延びるためにゴミ箱を漁って食べ物を探さなければならなかったり、それすらできずに空きっ腹を抱えている人がいます。そのような人がいなくなるような社会を築こうという考えを実践するなかで2HJに協力いただいた方すべてに感謝したいと思います。世の中には物が溢れています。これからも、食べ物に困っている人の手に食料を届けられるような社会基盤を作り上げていきましょう。

感謝を込めて、

チャールズ・マクジルトン

理事長

目次

ニュースキン ジャパン.....	2
フードドライブ.....	3
フードドライブを企画する上での注意事項.....	4
食品企業ドナー ミーティング.....	4
お問い合わせ先.....	4

セカンドハーベスト ジャパンについて

フードバンクは、市場に出すことはできなくとも、人々が消費するのに十分な安全性をもった食品を処理する代替案です。食品の小売店、製造業者、輸入業者は販売することができず廃棄しなければならない食品の問題に直面しています。企業が廃棄費用を削減するとともに、地域貢献を果たす手助けをするのがフードバンクです。

セカンドハーベスト ジャパンは2002年に非営利活動法人格を取得しています。その活動は米国におけるフードバンクネットワークの成功例である America's Second Harvest を模範としています。



保管スペースを拡大予定

食品寄付の拡大したため、現在の倉庫・オフィススペースでは間に合わなくなってきました。さらなる保管スペースを確保する予定です。

ニュースキングァンがくれた時間とお金



笑顔を含めたサービス 上野公園での給仕に笑顔で参加するニュー スキン ジャパンのボランティア

写真:ニュー スキン ジャパン

「東京に住んでいますが、このような活動に参加したのは今回が初めてです。とてもよい経験になりました。」

—吉田明美さん、ニュー スキン ジャパンのディストリビューター

すが、そのうちの1つが2HJです。もう1つは、子供たちを悩ます遺伝皮膚病の研究を行っている北海道大学です」と、コンリーさんは説明してくれました。

ニュー スキン ジャパンから参加されたボランティアの一人である山田美香さんは、ニュー スキン ジャパンと2HJがお互いによく関わられるようにさまざまな調

文章:パトリシア・デッカー

「セカンド ハーベスト ジャパン(2HJ)について初めて知ったのは、3年ほど前にフジマラスというレストランで食事をしていたときです。」こう語るのは、ロバート・S. コンリーさん。パーソナル・ケア製品や栄養補助食品を取り扱っているグローバル企業の一つである ニュー スキン ジャパンの社長を務めています。フジマラス(2HJの長きにわたる支援者)で2004年に使われていた割り箸の包み紙には、日本における飢餓の状況やによって、お客さんが食事をしながら飢餓や2HJに関する情報を得られるように、ちょっとした啓蒙活動を行っていたのです。

「素晴らしいアイデアだな、と思いました。その包みを家に持って帰って、机の上に置いて時々眺めていました。ですから、自分の子供たちの通うAISJ(アメリカン・スクール・イン・ジャパン)の行事で、チャールズ(マクジルトン、2HJ 理事長)と初めて会ったときには、すでに2HJの活動ことを知っていました。」

コンリーさんは、ある土曜日の午後、ニュー スキンの会員や社員と一緒に上野公園での炊き出しを手伝い終わった後にこう語りました。「私たちニュー スキンが行っている社会貢献活動では、“子供たちのために、より良い世界を創る”活動をしている団体への支援に積極的に取り組んでいます。2HJの活動はこの私たちの考えによく当てはまります。」なぜなら、ホームレスには2HJが提供する食料の約20%のみが届けられ、その他の大部分は、女性のためのシェルターや孤児院および貧しい家庭に届けられているからです。「私たちが日本で支援している団体は3つありま

整をする一方、ご自身もこれまでに何度もボランティア活動をされています。社会貢献活動について伺ってみると次のように語ってくれました。「ニュー スキンビジネスに関わっていると、社会貢献活動はとても身近で大切な事だと実感します。なぜなら、私たちの会社や製品と関わった人たちが、より豊かになるよう人々に尽くすという理念「Force for Good」を実践すべく、日々誠実に努力しているからです。」既に、「ニュー ス

キン ジャパン Force for Good 基金」から2HJに1,800万円(月150万円)が提供されています。

また、ニュー スキン ジャパンは、財政的な支援だけでなく、日本で食料に困っている人に2HJが食べ物を提供できるように、ディストリビューター(会員)や社員がボランティア活動に参加するこ

とも奨励しています。ニュー スキン ジャパンから参加したもう1人のボランティア、コートランド・ピアソンさんは、500食以上を野宿者に提供する活動を手伝った後、今回の経験により「2HJの活動に関心を持つ人に対して感謝の気持ちで一杯になったし、またボランティアへの関心を持つ人がもっと増えなければならないと感じた」と語ってくれました。ニュー スキン ジャパンのような企業は、コミュニティに建設的な影響を与えています。

「一人ひとりの力は限られますが、それが集まると大きな影響を与える事ができる。セカンド ハーベストの活動と出会い、現状を知るだけでも、その一歩が始まるのだと感じています。」先述の山田さんの言葉です。■

ハーベストパントリーを支えるフードドライブ

文章:ミッシェル・ライアン

セカンド・ハーベスト・ジャパン(2HJ)は、ハーベスト・パントリーという支援プログラムで47人の子供を含む100人近くの方に食料を毎週送っています。この、貧しい人たちに必要とされている、保存の利く食料品の大部分の供給源となっているのが、学校や企業それにさまざまな団体が行っているフードドライブです。日本では65万人以上の方が毎日の食料を手にするのに困っている現状を考えると、フードドライブは、その規模の大小にかかわらず、この貧困を緩和するために重要な役割を果たしています。

東京韓国学校で英語教師を務めるマーク・バレンズさんは、1年生から6年生までの生徒と一緒にフードドライブの計画に携わりました。この5日間にわたるフードドライブには約450人の生徒が参加しました。生徒



写真:東京韓国学校

チーム力

東京韓国学校の生徒会委員達が2HJのハーベストパントリーのために集めた保存食を手渡してくれました。

「食料を寄付することで、困っている人の生活に何か変化を生じさせることができるということに生徒は気づいたと思います」

—マーク・バレンズ、英語教師、東京韓国学校

がやる気を起こし、熱意を持てるように、先生たちはある目標を掲げたのです。それは、もし生徒が500品以上集めることができたなら、先生たちが生徒みんなの前で日本語の歌を歌い、逆に、500品に達しなかったら、6年生が英語の歌を舞台上で歌う、というものでした。

結果は、1,100品を超える食料を集めることができ、バレンズさんは「このフードドライブに従事した

人はみな、大成功だったと評価しています」と報告してくれました。「食料を寄付することで、困っている人の生活に何か変化を生じさせることができるということに生徒は気づいたと思いますし、それに、豊かな先進国にもお腹をすかしたまま毎晩に就かなければならぬ人が多くいることも学んだと思います。」また、手伝ってくれた先生方も、毎日の食べ物に困っている人がいること、困っている人を助けることの大切さを感じたと話し合っていました。

フードドライブはその多くが世界食糧デー(10月16日)に合わせて行われています。この日は、飢餓および貧困の問題を世界中の人にもっと知ってもらうために国連食糧農業機関が1979年に定めたものです。2HJのためにフードドライブを行い、同時に日本における飢餓の状況を知ってもらうには、世界食糧デーはまさに相応しい機会でしょう。

しかし、貧困の問題は一年を通して起こっています。フードドライブを企画するのに秋まで待つ必要はないのです。

(フードドライブを企画する上でのヒントや注意事項をお知らせします。裏面をご覧ください、2HJに連絡ください。) ■



ケアパッケージ

2HJでは、47人の子供を含む100人近くの人たちの必要に合わせた食料パッケージを送っています。

フードドライブを集めるにあたっては、ハーベストパントリーのコーディネーター、ミッシェル・ライアン(michelle@2hj.org)にご連絡ください。

フードドライブを企画する上での注意事項

計画

- 企画委員会を立ち上げましょう。
- どれくらいの食糧を集めるかの目標を定めましょう。
- 何日間フードドライブを行うかを決めましょう。

集めてほしい食糧

- ✓ お米
 - ✓ 缶詰の野菜
 - ✓ 缶詰の果物やドライフルーツ
 - ✓ 缶詰の魚。ツナ缶など。缶詰の肉
 - ✓ 缶詰の豆や乾燥豆
 - ✓ パスタやソース
 - ✓ シリアル(ホット・コールド)
 - ✓ オートミール
 - ✓ ピーナッツバター
 - ✓ 缶詰のスープやスープの素
 - ✓ ジュース
 - ✓ 粉ミルク
 - ✓ ベビーフード
- 保存の利くもののみです！

宣伝

- 日本における貧困の問題をグループで共有しましょう。
- 気分を盛り上げるためにキックオフイベントを計画しましょう。
- 目立つ場所にポスターを貼ったり、集荷ボックスを置きましょう。
- 回覧板や電子メールなどを利用して周知させましょう。

集めてはいけない食糧

- ✗ 賞味期限が切れているもの。
- ✗ 賞味期限が明示されていないもの。
- ✗ 壊れやすい瓶に入っているもの(例外:ベビーフード)。
- ✗ パッケージが開いてしまっているもの。
- ✗ オリジナルではなく別のパッケージに入っているもの。

食品企業ドナー ミーティング

5月24日 14:00 - 16:00

場所: 蔵前橋

市場性は失ったがまだ安全に食べられる食品をただ廃棄する以外に方法はないのか？最近まで、廃棄以外の方法は非常に限定されていました。しかし、多くの企業が、フードバンクによって、財務的に、またそれ以外の面でもメリットを得られるということに気づき始めました。

ご出席をご希望の方は、こちら(donor@2hj.org)までメールにてご登録ください。



「すべての人に、食べ物を」パートナーの皆様への感謝

主な食糧提供企業

コストコ ホールセール ◆ ニチレイ ◆ CP ◆ ハインツ日本 ◆ マスターフーズ ◆ Eco Business ◆ ひかり味噌 ◆ テング ナチュラル フーズ ◆ Fujimamas ◆ ネスレ ジャパン ◆ Foreign Buyers Club

寄付・出資協力企業

リーマン・ブラザーズ ◆ モルガン・スタンレー ◆ American Chamber of Commerce in Japan ◆ ニュー スキン ジャパン ◆ FIT for Charity ◆ ステート・ストリート ◆ Tokyo American Club Women's Group ◆ コストコ ホールセール ◆ アリサンオーガニックセンター ◆ クレディ・スイス・ファースト・ポストン ◆ Mr. Kei Sato ◆ Seisen International School Hunger Fast ◆ Seisen International School Social Outreach ◆ 小百合の寮 ◆ Orrick ◆ 電通 ◆ ファリップモリス ◆ Black Ale Pub ◆ オルカ・ワイン

商用車提供

メルセデス・ベンツ・ファイナンス(株) ◆ ビーコン コミュニケーションズ

後援団体

ビーコン コミュニケーションズ ◆ ギャビン・アンダーソン・ジャパン ◆ 川崎陸送株式会社 ◆ Kuehne + Nagel ◆ Yokosuka Naval Base Chiefs' Association

教会

聖アルバンズ教会 (St. Albans) ◆ 東京ユニオン教会 (Tokyo Union Church) ◆ ウエスト東京ユニオン教会 (West Tokyo Union Church) ◆ 六本木教会 (Roppongi Church)

学校

東京インターナショナル・スクール (Tokyo International School) ◆ 清泉インターナショナル スクール (Seisen International School) ◆ アメリカン・スクール・イン・ジャパン (American School In Japan) ◆ 聖心会 (Sacred Heart) ◆ 西町インターナショナルスクール (Nishimachi International School) ◆ まりスト・ブラザーズ・インターナショナル・スクール (Marist Brothers International School) ◆ 東京韓国学校 (Tokyo Korean School) ◆ カネディアン・アカデミー (Canadian Academy)

制作協力

記者

チャールズ・マクジルトン
ミッシェル・ライアン
パトリシア・デッカー

写真提供

ニュースキンジャパン
東京韓国学校

翻訳者・編集者

長岡洋人
ハントリー・ニコラス
パトリシア・デッカー
和田裕介

お問い合わせ先

東京都台東区浅草橋 4-5-1

水田ビル1F

E-mail: info@2hj.org
volunteer@2hj.org

URL: www.2hj.org

TEL: 03-3838-3827

FAX: 03-3863-4760